

**JENESYS2021 日タイ・オンライン交流**  
**(日本語学習者招へい) の記録**

**1. 概要**

【目的】日本及び日本語に興味を持つタイの高校生が、日本文化・日本語・日本の最先端の科学技術等を学ぶ機会を通じて、日本語学習のモチベーションをさらに向上させ、交流後に自身や周りの環境への対日理解を普及することを目的に、本プログラムを実施しました。

【参加者】 タイの高校生、教職員、青少年 計 157 名

【訪問地】 神奈川県、北海道、東京都、愛知県

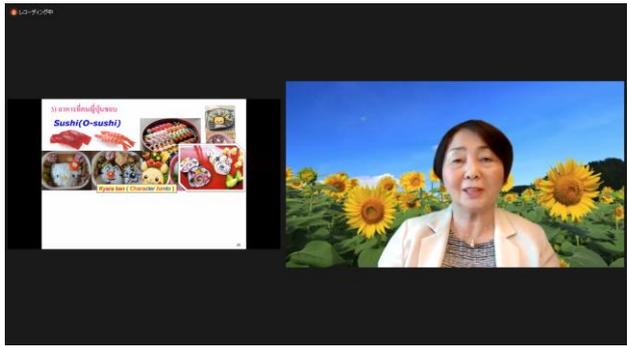
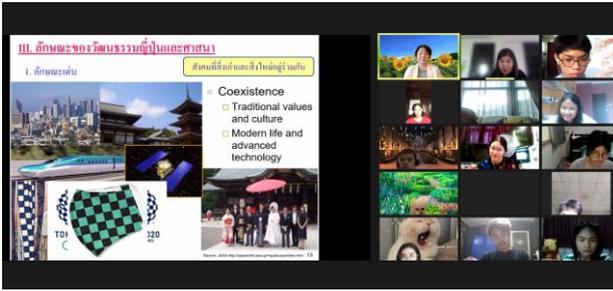
**【日程】**

日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下 2 日間の参加人数：145 名		
2021 年 8 月 28 日 神奈川県	(他のプログラムと合同実施) 【ウェビナー・質疑応答】 日本理解講義、オリエンテーション 「日本社会と文化」 講師：アンドラディ 久美 氏	冒頭、講師から参加者へ向けて「天気はいかがですか?」といった声掛けを行う等、講師と参加者間で双方向にコミュニケーションを取り、終始参加者が顔を見せて講義を聞いていました。講義中は、普段から関心の高い日本のサブカルチャー（アニメや漫画）だけでなく、日本の四季から成る文化や最先端技術についても学び、積極的にメモを取るなど、熱心に聴講する様子が見られました。参加者から、「日本の文化・社会に対する理解が深まった」「より熱心に日本語を学習しようと思うきっかけとなった」等の声がありました。
2021 年 12 月 17 日 北海道 札幌市	【学校交流】 北海道国際情報高等学校 35 名 1. タイ・日本生徒代表挨拶 2. タイ側プレゼンテーション 3. グループ別交流（日本側のテーマに関する全体プレゼンテーション・設定テーマごとに分かれての交流）	日本語学習歴のあるタイの高校生が日本の高校生と交流を行いました。タイ側からは文化や食事、日常生活、学校生活の様子が良くわかる、色鮮やかなプレゼンが日本語によって行われました。コロナ禍が明けたら是非タイを訪れたいという感想が聞かれました。グループ交流では、日本側が、「お

		祭り」「ファッション」「恋愛」の3つのテーマについてプレゼンテーションを行い、参加者が選んだテーマについて、可能な範囲で日本語を使って意見交換をしました。日本側の参加校は英語教育に力を入れており英語を交えて交流をしていました。最初は双方が遠慮がちで会話が弾まない場面も見られましたが、時間が経つにつれて少しずつ打ち解けて話すことができました。同じ年代同士、共通点も見つかり、楽しそうに交流する姿が見られました。
以下6日間の参加人数：12名（以下のプログラムは他のプログラムと合同で実施）		
2022年 1月22日 ～	<b>【動画視聴】</b> 1. 外務省挨拶 2. ホームビジット体験 3. 南三陸町からのメッセージ 4. 愛知の魅力～産業、最先端技術～ 5. 日本語学習	プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴してから参加しました。
2022年 1月25日 東京都	<b>【オリエンテーション】</b> <b>【ウェビナー・質疑応答】</b> 1. 講義・VTR 視聴 「日本の魅力」 講師：千葉大学国際未来教育基幹 教授 織田 雄一氏 2. 質疑応答	「最も特徴的な日本文化は何か」といった日本文化に関する質問が多くあり、参加者からも日本の好きなものなど活発なコミュニケーションがなされていました。
2022年 1月26日 愛知県名 古屋市	<b>【文化体験】</b> 「大須商店街視察」 1. パーチャル視察 2. 質疑応答	日本の街の清潔さや、日本の食べ物、アニメやマンガなどのサブカルチャーに関する感想や質問が多くありました。
2022年 1月27日 愛知県名 古屋市	<b>【ウェビナー・質疑応答】</b> 「名古屋市について」 講師：名古屋市国際課・観光文化交流局 主幹（観光プロモーション担当） 若山 寮弥氏 1. 聴講・VTR 視聴 2. 質疑応答	名古屋の食文化や観光情報、名古屋市政など、幅広い分野について活発に質問がありました。
2022年 1月28日	<b>【ワークショップ】</b> 1. プログラムの振り返り	プログラム全体を通しての学びから、6-10名のグループに分かれてアクション・プラ

東京都	2. アクション・プラン策定・発表準備	ンを策定し、報告会にむけて発表の準備を行いました。
2022年 1月31日 東京都	【報告会】 1. 参加者による発表 2. 講評 在タイ日本国大使館 広報文化部 二等書記官 山下 竜生氏	英語と日本語でプログラム後3か月以内に実施するアクション・プランについて発表しました。日本について幅広い対象に発信する独創的なプランがいくつも出ました。

## 2. 記録写真

	
<p>2021年8月28日【ウェビナー・質疑応答】講師から日本食について紹介する様子</p>	<p>2021年8月28日【ウェビナー・質疑応答】伝統文化、サブカルチャー、最先端技術について紹介する様子</p>
	
<p>2021年8月28日【ウェビナー・質疑応答】講師がタイ側参加者からの質問に応える様子</p>	<p>2021年8月28日【ウェビナー・質疑応答】集合写真</p>



2021年12月17日【学校交流】タイ高校生によるプレゼンの様子



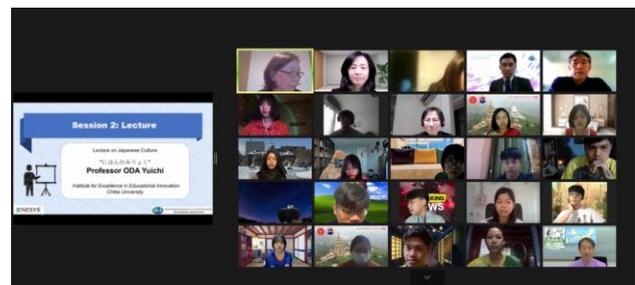
2021年12月17日【学校交流】グループ交流での日本高校生によるプレゼンの様子



2021年12月17日【学校交流】グループ交流の様子



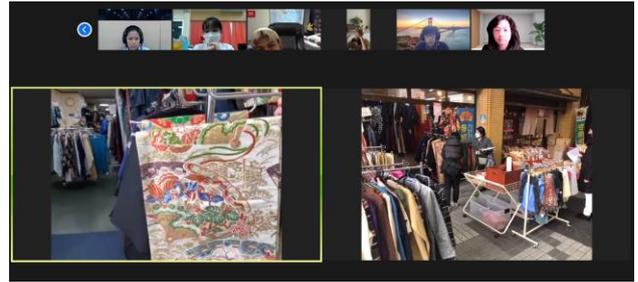
2021年12月17日【学校交流】全体集合写真



2022年1月25日【ウェビナー・質疑応答】



2022年1月25日【ウェビナー・質疑応答】



2022年1月26日【文化体験】大須商店街を視察する様子



2022年1月26日【文化体験】招き猫と一緒に記念写真



2022年1月27日【ウェビナー・質疑応答】集合写真



2022年1月31日【報告会】アクション・プラン発表のスライド



2022年1月31日【報告会】集合写真

### 3. 参加者の感想（抜粋）

#### ◆ 参加高校生

自国の教室では学べない、日本人の文化に関する事柄をより多く学ぶことができました。素晴らしい事業だと思います。

#### ◆ 参加高校生

楽しかったです。このプログラムに参加することで、日本語・日本文化の学習に対する意欲と関心がさらに高まりました。

#### ◆ 参加高校生

このオンラインプログラムに参加し、日本の文化・社会に対する理解が深まりました。また、私たちがより熱心に日本語を学習しようと思うきっかけとなりました。

#### ◆ 参加高校生

これまでに学んだ日本語を効果的に駆使して、意思の疎通を図ることができ、とても満足しています。

#### ◆ 参加高校生

日本人との会話はとても緊張しましたが、みんな愛すべき人たちでした。

#### ◆ 参加高校生

本プログラムに参加できて、とても嬉しく、楽しかったです。日本についてさらに多くのことを学ぶことができました。日本へ行きたい気持ちが高まりました。

#### ◆ 参加高校生

本プログラムに参加できて、とても嬉しかったです。講義を受講して益々日本に興味を持ちました。

#### ◆ 参加高校生

本プログラムに参加できて、とてもよかったです。日本について様々なことを学びました。

### 4. 受入れ側の感想（抜粋）

#### ◆ 講師

通訳の方のお陰でスムーズに講義が進み、ほとんどの受講生が満足する講義ができたと思います。時間配分は危惧した箇所もありましたが、質疑応答の時間も十分に取れてよかったです。但し、いくつかの質問には満足できる回答を差し上げることができず残念でした。初めてのオンライン講義で不安もありましたが、“（直接）見えない”受講生たちとのコミュニケーションも予想以上に取れ、安心いたしました。

◆ 交流校学生

互いの国について教えあいました。共感するところもありました。

◆ 交流校学生

質問をしあったりして、楽しかったです。英語がメインになってしまったので、もう少し日本語でもコミュニケーションを取りたかったです。

5. 参加者の対外発信

	
<p>2021年8月28日 (Facebook)</p> <p>このような素晴らしいプログラムを実施して下さりありがとうございました。</p> <p>文化についていろいろと知ることができました。学ぶ機会を作っていただき感謝しています。</p>	<p>2021年8月28日 (Facebook)</p> <p>日本人と話をするのは2回目でした。通訳してくれる人がいましたが、そうでなければ大変でした。(笑)</p>



2021年12月17日 (Facebook)  
 英日文学特別教室で学ぶ 4~6 年生の代表が JENESYS2021 オンライン交流会に参加し、日本の北海道札幌国際情報高等学校との交流を行いました。

2021年12月17日 (Facebook)  
 Wittayanukulnaree 高校の 4~6 年生の代表者が北海道札幌国際情報高等学校の JENESYS2021 オンライン交流に参加しました。



2022年1月25日 (Facebook)  
 1日目講義で日本の地理、文化、その他たくさん学びました。とても楽しかったです。

2022年1月27日 (Facebook)  
 2日目 愛知県の中心都市で、日本で4番目に大きな都市である名古屋市のツアーに連れて行

	<p>ってもらいました。名古屋には商店街やレストランが多く、見学しながらお腹も空いてきました。そこで、本日は日本の人気料理 top5 を紹介したいと思います。私達の提供する情報から、皆さんが知識を得られることを期待します。</p>
--	---

## 6. 最終報告会でのアクション・プラン発表

グループ 1	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プロジェクト名「おもしろい食べ物ですよ」</li> <li>2. 時期：2022年2月～4月</li> <li>3. 日本の食べ物に興味がある人やJENESYSプログラムに参加していない人を対象に、日本の食べ物を紹介し、日本食の魅力を広めます。情報をポスター形式で週1回の頻度でインスタグラムにアップします。</li> </ol>
グループ 2	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プロジェクト名「名古屋でのおすすめ」</li> <li>2. 時期：2022年2月1日～4月30日</li> <li>3. JENESYSプログラムで学んだ名古屋について、週1回のFacebook投稿を通じて多くの人に広めます。JENESYSプログラムも紹介します。メンバーの3名が記事と投稿を担当し、3名がグラフィックデザインを担当します。</li> </ol>

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)